

尾山台中「**楽校だより**」

7月号

令和8年7月1日

【教育目標】



- 心を豊かにし、思いやりの気持ちをもとう。
- 自ら学び、深く考えよう。
- 強い意志と、健康な身体をもとう。
- 協力して集団の質を高める努力をしよう。

世田谷区立
尾山台中学校
校長 高橋 実

「体育祭 たくさんの応援ありがとうございました」

6月6日(土)体育祭を実施いたしました。多くの保護者の方、地域の方に応援をいただいたことに感謝申し上げます。ここ数年の体育祭は熱中症対策を意識した開催が求められてまいりました。今回は日差しはあったもののWBGTの示す熱中症指数は低く水分補給を促しながらの開催となりました。

一つの行事等を作り上げていくことは大変なことです。実行委員、クラス旗、係等の担当の生徒たちが自分の役割を全うし、多くの人が協力したからこそ良い体育祭になったことに感謝を伝えたいと思います。

1年生の「ご老公がお通りだいっ!」では、ご老公役の生徒が背中の上を歩きやすくするために高さを揃えたり、落ちてしまったりしたときには戻りやすいように高さを調整したり等の工夫や優しさが見られました。

2年生の「巨大台風目」では競技者が体を寄せ合い、よりコンパクトに回転できるような知恵や工夫が見られました。

3年生の「大むかで」では、声を掛け合い気持ちを合わせ進んでいく姿や、転んでしまったときに「大丈夫!」「焦らずに行こう!」等、前向きな声掛けや仲間を思いやる言葉があり、「さすが、3年生!」と思わせてくれました。また、全クラスがゴールした際に気持ちを切り替え整列して次に備える動きには感心させられました。

K組単独で出場した大縄跳びではみんなで声をかけ心をつなげて23回を記録することができました。全競技を通して尾山台中学校の生徒は最後まで諦めず頑張ることができることを感じることもできました。

「心が温かくなった小さなできごと」

尾山台中学校での勤務にも慣れ、最近は地域の理解を深めるために放課後の時間を利用し駅前や商店街を散策することが多くなりました。尾山台駅は学生の利用があり放課後の時間は人通りが多く賑やかを感じられます。ある日、駅方面から尾山台中学校に歩いていると駅に向かう学生の中に、本校生徒が歩いていました。(この時期は体育祭前なの本校のジャージを着用していた)偶然、その生徒と目が合いました。するとその生徒が私に向かって会釈をしてくれました。勿論、私も会釈を返しました。一瞬のできごとでした。尾山台中学校の生徒は温かいなと感じました。人通りも多かったことからそのまま素通りしてもおかしくないし、会釈がなくても違和感のない状況でした。互いの存在を認め合い小さなコミュニケーションで心が温かくなることをこの生徒から教えてもらいました。

保護者の皆様

早いもので今回の7月号が1学期最後の学校だよりとなります。保護者の方に支えていただき教育活動を行えたことに感謝申し上げます。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

*東京都教育委員会の指示により「体罰について」「性暴力について」「困ったことがあたら、すぐに知らせてくださいについて」の全校生徒に向けての講話を7月6日(月)の朝礼で行います。趣旨としましては子供たちを守る内容です。

当日ご家庭にもプリントを配布いたしますのでご確認ください。よろしくお願いいたします。

